


デザイン画



型紙パーツ数 6 P
 後ろ身頃、前身ごろ、袖、フード、
 前見返し、前ポケット

表布 130 幅 ニット素材 用尺はサイズ表右参考
 フード用別生地 40cm

ファスナー オープンファスナー 1本 サイズ表右参考
 ファスナーは購入の際、長さを言うとその場で変えてくれるはずです
 リブ布 20cm


接着芯 ニット用でないもの(布帛用)
 伸び止テープ(平) バイアスではない 1cm 幅

サイズ	バスト	着丈	袖丈	袖口リブ 上り寸	裾リブ 上り寸	用尺	ファスナ 寸法
80cm	60	28.3+4.5	28+2.5	15	54	65	28cm
90cm	62	31.2+4.5	30.8+2.5	16	56	70	31cm
95cm	64	33.1+4.5	33.7+2.5	16.5	58	70	33cm
100cm	66	34.5+5	37.4+3	17	59.6	80cm	34cm
110cm	70	37.5+5	41.7+3	18	62.8	80cm	37cm
120cm	74	40.5+5	46+3	19	66.0	90cm	40cm
130cm	78	43.5+5	50.3+3	20	69.2	100cm	43cm
140cm	82	46.5+5	54.6+3	21	72.4	110cm	45cm

裁断 合印はチャコで書いて下さい。(ほつれやすいため) 切り込みを入れる場合は、入れすぎに気をつけてください。リブの型紙はありません。生地裏に直接線を引いて裁断してください。寸法は下の裁断表を参考にして下さい。フードは裏付きです。表地2枚、裏地2枚裁断してください。

芯貼り 前見返し裏に布帛用接着芯をはる(市販品はほとんど布帛用です。伸びないように芯を貼ります) 前端縫い代、裾リブ、フード釦ホール裏に伸び止テープをはる。

作り方順序



- 1、ポケットを付ける
- 2、袖と身頃を縫い合わせる
- 3、袖下を縫う
- 4、表側裾リブをつける
- 5、ファスナーをつける
- 6、裏側裾リブをつける
- 7、袖リブをつける
- 8、フードを作る
- 9、フードを身頃につける

リブ布は付け寸法の約 90%で裁断するようになっています。引っ張りながら付けます。

裁断幅は
 袖口 8cm、裾布 12cm、ポケット口 4cm
 長さについては以下の表を参考に生地裏に
 定規で線を引き、裁断してください。

サイズ	80	90	95	100	110	120	130	140
袖口リブ 8cm (100cm~)	17	18	18.5	19	20	21	22	23
2枚 7cm (85cm~)								
裾リブ 12cm (100cm~)	56	58	60	61.6	64.8	68	71.2	74.4
1枚 11cm (85cm~)								
ポケット 4cm 2枚	12	13	15	16	17	17.5	18	19

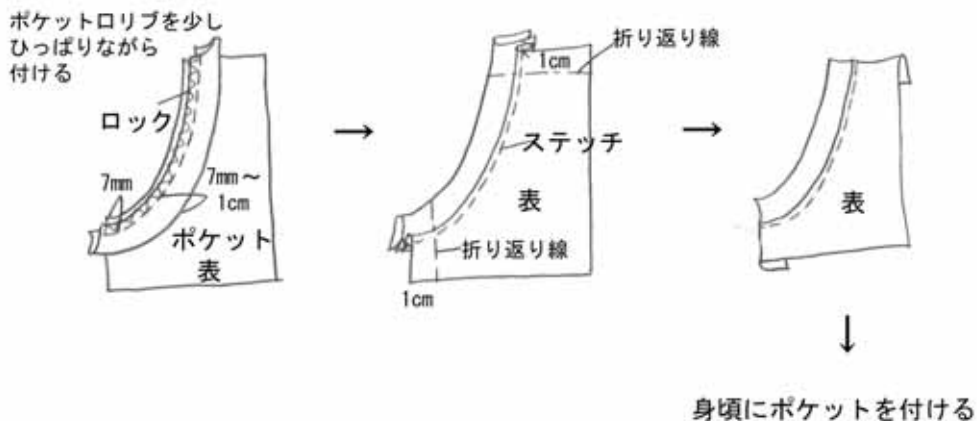
裁断表 生地幅

長さ

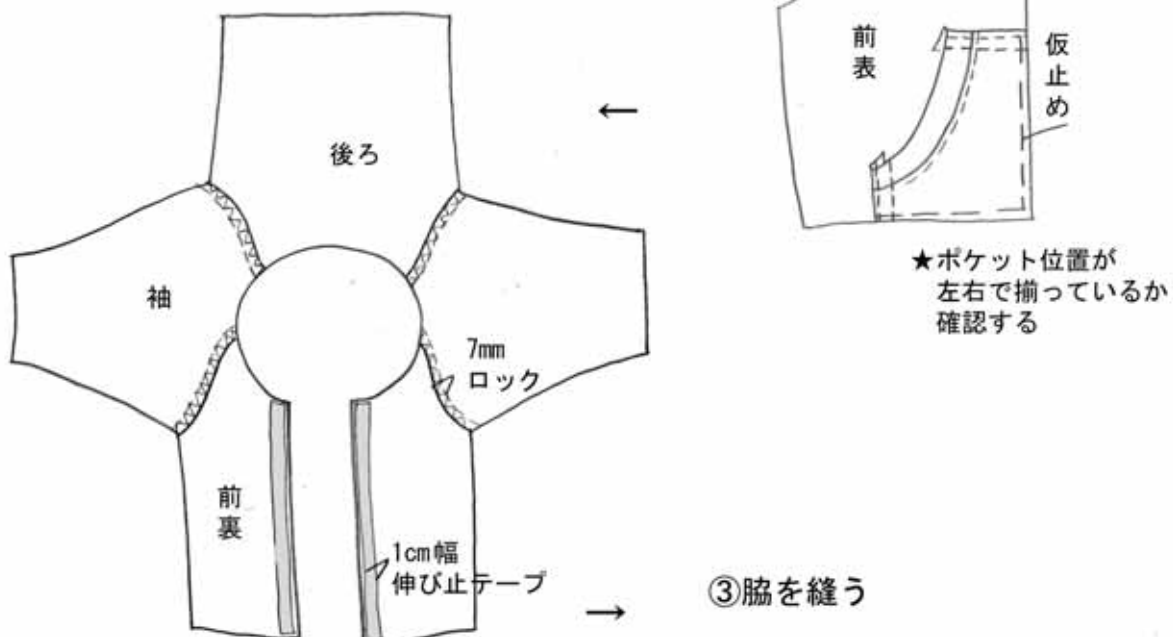
幅

リブ布

①前ポケットを付ける

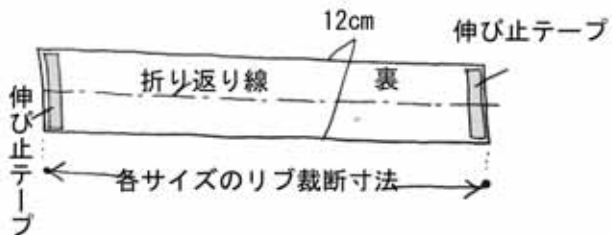


②袖と身頃を縫い合わせる

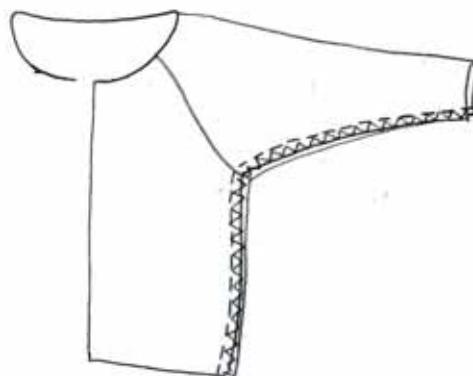


②-2 前はし縫い代に伸び止テープをはる

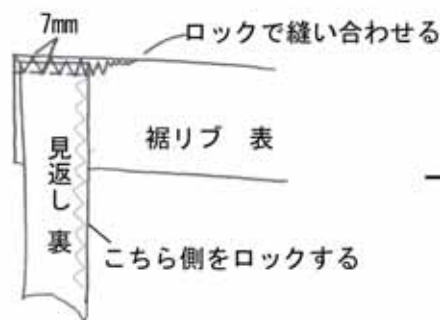
リブの寸法は正確に取ってください



②-3 裾リブ端に伸び止テープを貼る

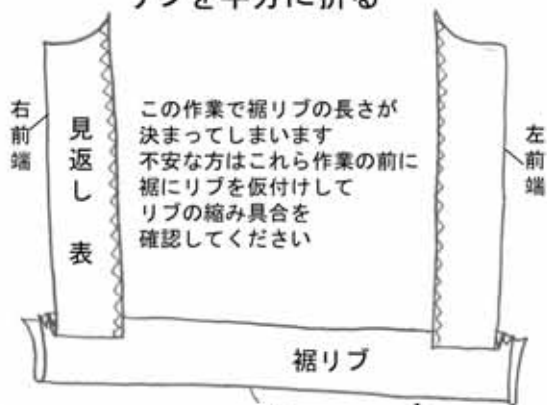


①見返しとリブを縫い合わせる



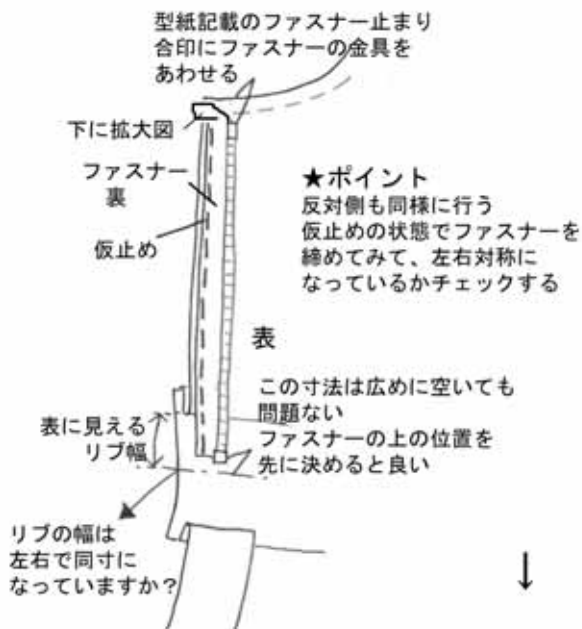
見返しに芯を貼り、ロックしておく

②見返しを表に返し
リブを半分に折る



↓ここでアイロンをしっかりとかける

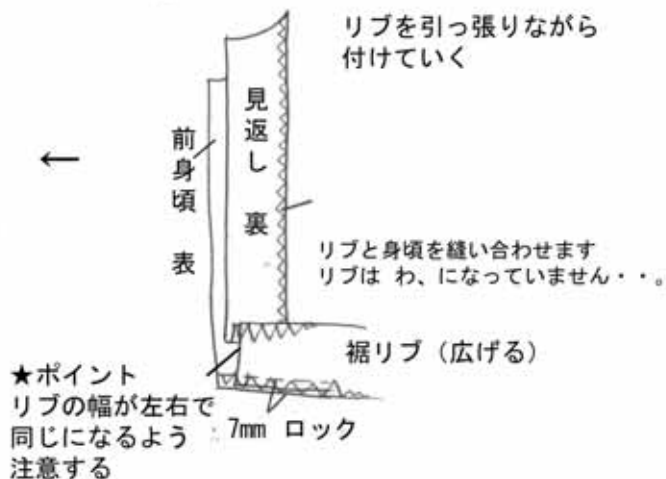
④ファスナーを仮止めする



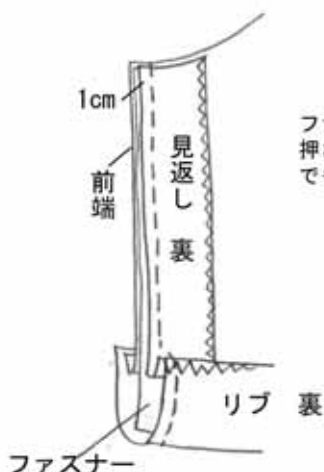
ファスナー上は折り込む

★前端に伸び止テープ
見返しに接着芯は必ず貼ってください。
ファスナーは全く伸びがなくニットは伸びやすいためです接着芯を貼ることでニット生地を伸ばさない様になっています

③身頃と裾リブを縫い合わせる



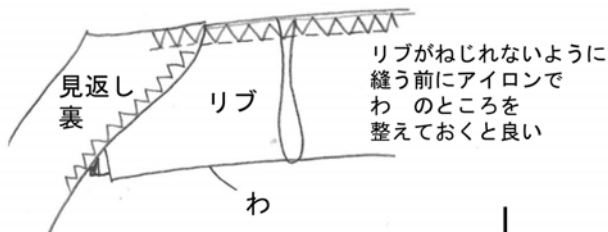
⑤見返しと前(身頃)端を縫い合わせる



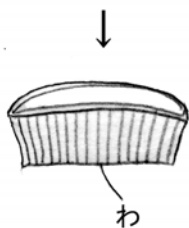
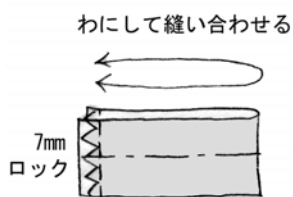
ファスナー専用の押さえを使うと縫いやすい押さえの幅が狭いもの(テフロン押さえなど)でも縫うことが出来ます

このページの作業が一番手間取り、仕上がりに影響します。左右対称になることに注意して作業の度に確認してください。表側がきれいに見えるのが第一ですので、ごまかす時も裏側でごまかしてくださいね・・・

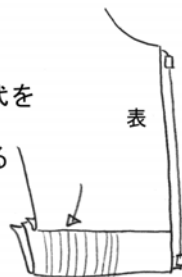
①見返しのついている方のリブを、身頃に付ける



②袖口リブを付ける



リブ付けの縫い代を身頃側に倒しアイロンで整える



リブが小さく縫いにくいですリブを引っ張って伸ばしながら縫っていきます

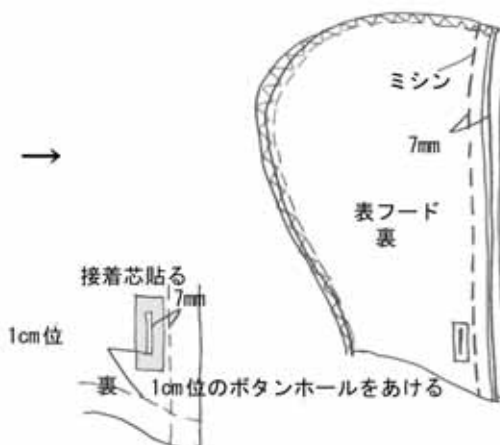
小さいサイズは、先に袖リブを付け袖下～脇を縫うとやり易いです。

①フードを縫い合わせる

表生地、裏生地も同様に行う



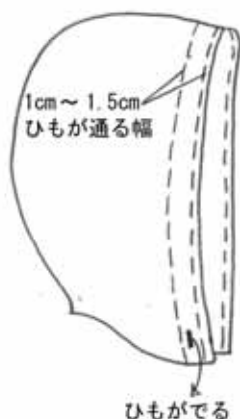
②表と裏を中表に縫い合わせる



③ひもが通る為の釦ホールをあける

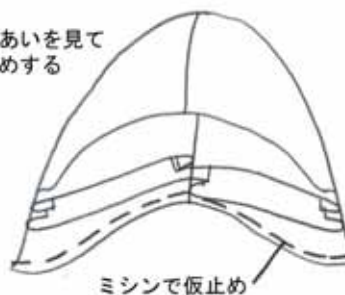


⑤ステッチをかける



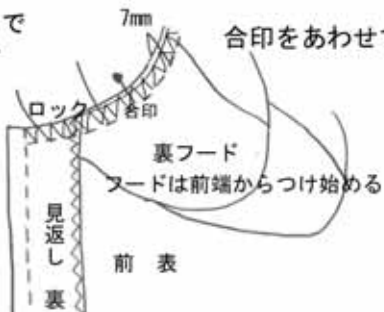
④縫い代を仮止めする

表と裏のつりあいを見て縫い代を仮止めする



⑥身頃衿ぐりにフードを付ける

身頃と見返してフードを挟む



フード裏に布帛を使う場合
フード側はほとんど伸びないが
衿ぐりは伸びやすい
衿ぐりを縮めるつもりで、アイロンをかけると良い
前衿ぐり縫い代にバイアスの伸び止テープを貼っても良い

⑦前あきにステッチをかける



ファスナーのところ
アイロンで整え、
ステッチで押さえる